

2.2.2 管理調整部

アジア太平洋地域の経済環境変化等が北東アジアおよびアセアン地域の国際物流に及ぼすインパクトに関する研究

Impact of economic partnership and other policies in Pacific-rim countries on international logistics in the Northeast Asia and ASEAN region

(研究期間 平成 28 年度～)

管理調整部 国際業務研究室

研 究 官 寺西 裕之

[研究目的及び経緯]

世界経済のグローバル化が進展するなか、我が国を含む北東アジア・東南アジア地域においても、経済連携の進展や企業の国際展開（海外進出）、国際的なサプライチェーンの高度化、インフラ輸出の国際競争の激化などがみられる。このような国際経済・貿易・物流に関する環境変化や各国の政策が、我が国および周辺諸国の経済・貿易活動に及ぼす影響を定量的に計測し、その影響を踏まえた定量的な物流動向の分析を行う必要がある。本研究では、貿易の分析を行うために開発された、空間的応用一般均衡モデルの一種である GTAP モデルや、船舶動静に係るビッグデータの分析技術を用いて、関係する経済連携の進捗状況や、新パナマ運河の供用の影響も考慮した将来貿易動向や物流動向の分析を行っている。

今年度は、スエズ運河庁における技術協力の際に得られた知見も踏まえて、船舶動静データの分析技術の改良を図り、新パナマ運河供用による LPG、LNG 船等のエネルギー資源関係を中心としたバルク船舶の経路選択への影響など、船舶動静、物流動向の分析を進めている。